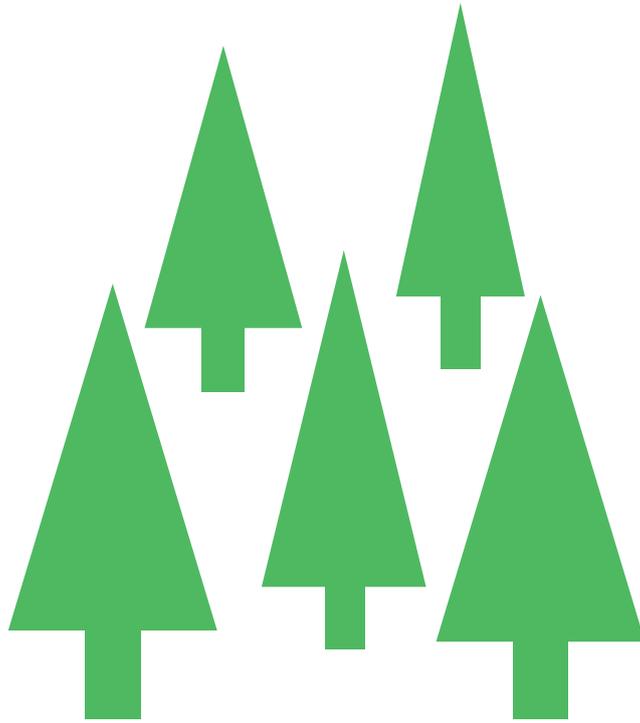


令和元年度

森林・山村多面的機能発揮対策交付金

活動事例集



林野庁

活動所在地



白山瀨波の会

(石川県白山市)

活動の経緯

石川県白山市瀨波地区（旧吉野谷村）は、標高約 270m、瀨波川を中心とした山間傾斜地にあります。県内でも有数の豪雪地帯で、近年、過疎化と高齢化が深刻となっています。

同地区では、約 20 年前より森林整備に利用する歩道の維持作業が行われなかったことで雑木が繁茂し、歩道が使えない状態になってしまいました。

こうした状況の中、「人が残り『瀨波』の名を残す」ため同地区の自然資源を活かした活動として、平成 28 年 3 月に「白山瀨波の会」を設立し、元気で魅力ある地区づくりに着手することになりました。

活動内容

地域の魅力を発信できる森林整備を行うとともに、来訪者が瀨波地区の自然を楽しめるように、一度は廃道となった歩道の復元と維持管理を行っています。

間伐や雑草木の刈払いを行い、明るい森林づくりを進めた結果、カタクリ（石川県の準絶滅危惧種）の群生地やイワウチワの群生地の保全や再生につながりました。

また、伐採した樹木は、歩道の整備に活用するとともに、一部は搬出し、薪や炭焼き体験の材料として活用しています。

特徴的な取組

森林の保全管理に必要となる作業道（登山道としても利用）は、一般の来訪者にも利用しやすいように整備を行っています。

平成 28 年度は約 900m、平成 29 年度は約 1km、平成 30 年度は約 600m と長い距離を整備して、来訪者が利用できる範囲を広げるように配慮しています。



活動メンバー



歩道での階段づくり作業



炭焼き窯から炭を取り出す様子



整備後に再生したカタクリの群生地

活動の成果

当地区のカタクリの群生地は国内でも最大規模の群生地とも評されるようになり、テレビや書籍等でも広く紹介され、多くの人を訪れています。

本交付金を活用した整備の結果、周辺の瀬波キャンプ場の利用組数は、平成28年度の45組（843人）に比べて、令和元年度には約10倍の401組（2,050人）となっています。

整備を行った道を利用している登山客も含めると、さらに多くの入込客の増加となっています。森林整備を通じて景観が改善され、地域の活性化につながっています。



整備後の歩道を利用する多数の登山客



整備前の歩道



整備後の歩道

今後の活動

活動が広く周知されるとともに、カタクリの群生地の拡大という形で森林整備の効果も実感できるようになりました。ただ、メンバーは集落住民の高齢者が中心となっていることから、集落外の方にも活動のサポーターになっていただき、活動を広げていければと考えています。

団体情報 白山瀬波の会

所在地：〒920-2323 石川県白山市瀬波子 19 番地 5

電話番号：076-255-5288 FAX：076-255-5289

メール：h-senami@asagaotv.ne.jp

ホームページ：https://www.hakusansenami.jp/（株式会社 白山瀬波内）